



2つの受験を経験して

はじめまして。非常勤講師として高殿教室に勤務しています、日野雄太です。私は小学一年生の時に開智に入塾しパスカルキッズ、小学部、中学部の個別と集団を経て高津高校に進学しました。その後も開智予備校に通い、現在は立命館大学に通っています。

およそ12年間の長い間、開智にお世話になりました。今回はその12年間で経験した高校受験と大学受験についてお話したいと思います。

中学生の時私はサッカーのクラブチームに入っていました。家から自転車で45分の距離にあり中学校の授業が終わり次第家に帰り、練習に向かい練習が終わると急いで塾に行くという

生活を続けていました。土日に試合もあり、かなり忙しい日々を送っていたと思います。そんな中でも親や塾の先生のサポートもあり、定期テストで9割以上の成績は維持し続けることができていました。何か特別なことをしていたという訳ではなく、先生の指示に従いながらテスト2週間前に課題は終わらせて、その後はひたすら反復学習や問題演習をしているだけでした。高校受験が初めての受験という方が大半だと思います。そのため勉強時間を確保し先生の指示に従うのが1番の近道だと思っています。

対して大学受験には自立学習が求められます。勿論先生やチューターの方々をサポートしてくれますが自分で苦手の教科や分野を分析し、どの授業を取るかどうかやって自習時間を確保するなど計画性も必要になってきます。私は高校

日野 雄太(高殿教室)

ではラグビー部に入部しました。練習がハードだから仕方ないなどと甘くなったり、高校生になり自由度が上がることで出て来る様々な誘惑に負けてしまい、先生からのアドバイスがあつたにも関わらず気付いたら3年生、気付いたら受験という状況になってしまい志望校に合格する事はできませんでした。計画性のなさが招いた結果だと思っています。大学受験は高校受験に比べて圧倒的に勉強すべき量が多いので生徒の皆さんには「3年生から本気出せばいいや」などとは思わずに1年生から真面目に勉強に取り組んでほしいです。

まだまだ未熟者ではありますが、開智で培った経験を活かして皆さんの助けになればと考えています。質問だけでなく相談にも乗りますので、何でも聞いてもらえればと思います。



川西のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 川西 久志

前向きな姿勢で病気を吹き飛ばす

こんにちは。久しぶりにグロウイングの記事を書かせていただいて嬉しい限りです。ただいま私は悪性リンパ腫を患い、手術を受けて現在は投薬で治療をしています。今回はその時から今までの体験談や自分なりに思ったことを書かせていただきたいと思います。

担当医の先生から病気の宣告を受けた瞬間は確かに不安になりましたが、治すための最大の努力をすべきと思って先生にどうすればいいかを質問しました。まずは全身麻酔での手術→その後投薬治療をするという説明を受け、手術の時は体調は万全にしてくださいということでしたので、家では徹底消毒を心がけて当日までは外に出ずに自宅で体調管理しつつ過ごし、準備万端で手術を受けました。手術前はさすがに怖かったのですが全身麻酔なので麻酔を打ってもらって20秒後には意識が勝手にとんでいました。内心では麻酔打たれても眠れないとかあるのかな?などと心配していましたが、安心してくださいます。麻酔の眠気に抗うことはできません(笑)。

術後の傷は順調に回復し、傷がふさがったタイミングで1度退院しました。次は投薬のための入院です。内科の先生によると病気の宣告でショックを受ける方もいて、大病だからとずっと寝ている人もいますと聞きました。もちろん病気によっては絶対安静なものもあります。でも私の場合は無理のない範囲で運動はしたほうがいいと先生から教わりました。では早速とばかりに入院中(個室の無菌室でした)1日3回朝・昼・晩と筋トレをしていました(たまに看護師のお姉さんに見つかり、ストイックな患者ですね〜と言われていました)。他にも教わったことは全て計画を立ててこなした(スケジュールシートほしいと思いましたが笑)結果(?)経過は全て順調。再度退院となり、現在は通院で投薬治療をおこなっています。

もちろん辛いことがなかったわけではありません。投薬による副作用は動けなくらいの症状もあります。大丈夫かなと思うこともいっぱいありましたが、治すためにできることは全てやり

ました。それが原因かどうかは本当のところはわかりませんが順調に回復しています。自分自身今回のことでわかったことは、重い病気にかかってまずは前向きな気持ちで1つ1つよくしていくことが重要だということでした。

カイチでは受験生の皆さんが不安な時期に差し掛かっていると思います。私に関われないのがとても残念なのですが、不安な時はまず自分が合格するためにすべきことを1つずつこなしていけばどうでしょうか?また、周りを見回してください。受験生の皆さんには少なからず皆さんに寄り添ってくれる人がいます。私自身、ここには書ききれないほど家族や会社の方々にも助けられました。自分1人で抱えすぎずによりよい方法を周りに相談をするのはいかかでしょうか?最終的には1人で乗り切るのが受験ですが、先生や親御さんは皆さんの努力に協力を惜しません。希望を持って勉強を積み重ね、志望校合格を勝ち取りましょう!



薬の影響で髪の毛は抜けてますが、元気です!!

- 11月上旬より期末模擬テストを各教室で実施します。 ■11月12日(日)は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。
- 12月2日(土)に珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんなは教室の代表としてがんばってください。
- 11月27日(月)・28日(火)は小学部の診断テストの予定です。
- 受験生にとって大切なテストが続く中、風邪にかかる人が増えています。手洗い、うがいを徹底していきましょう。インフルエンザ予防接種も忘れずに。

<受験生を持つ保護者の皆様へ>

11月はテストが続き、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。心配やご相談がある時は、遠慮なく各教室にご相談ください。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



November 2023
Vol. 134
毎月10日発行

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【開目教室】
城東区開目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

不安やったら、みんなで塾で勉強しよう!



後述の川西先生の記事にあるように、実は川西先生が夏から悪性リンパ腫になり、その兼ね合いで今福教室の指導スタッフの入れ替えが起きました。今福教室の皆さんには多大なご迷惑をおかけしていますが、スタッフみんなで川西先生の分も頑張ろうと力を合わせています。

今、このタイミングで川西先生の病状をお話するのは、抗がん剤投与が終わり治療が一段落着いてからという本人の意向があったためです。最初、川西先生から病気の話を聞いた時は驚きましたが、本当に彼らしく何事にも動じず淡々と治療を受け、みんなに迷惑をかけないようにギリギリまで動き、抗がん剤治療になってからも、抵抗力が下がるため生徒の皆さんの前には出せませんでした。『働いている方が気持ち楽』とバックヤードで仕事をしてきています。不安な顔を見せず、泣き言も言わず、すべきことを淡々とする。彼は根性があることは昔から知っていましたが、改めて「すごい人だな」と思われています。

私もそのような事情で週に1回ですが、今福の中3生の授業に入らせていただいています。最初の授業をして、今福の先生達に言った一言は「すげえな」でした。生徒達は学習に必要な姿勢ができていて、きちんと質問ができる。そして、その質問が的確。しかも、思春期にありがちなシレッとした感じが一切ない。私のしょうもない話を笑って盛り上げてくれます。これは、私立の中高一貫の進学校で長年の指導経験のある桔梗原先生も、この子供達は態度が本当に素晴らしいとおっしゃっていますので、全くその通りだと思います。

これはきっとカイチのどの教室でも言えることですが、冷めて無気力な子供が多いと言われるこの世の中で、よくこんな子達が集まってくれているなと思います。

この記事を受験生の皆さんが読んでいる頃は、11月12日の五ツ木模試直前か終わった後で、期末テスト対策に追い込まれまくっている時期だと思います。他教科も含まれるテストですから一切手を抜くことができま

せん。みんな連日のテスト、テストで少し疲れているかもしれませんが。塾から帰る時には、外はすっかり寒くなって、その寒さがみんなの不安を一層かりたてるかもしれません。

ここで、皆さんに不安の解消法を教えたいと思います。それは、不安に思うならそのことと向き合い行動することです。川西先生は大病を患ったことを嘆くのではなく、自分の気持ちを切り替えて、回復のためにすべきことを淡々とやり続けています。それでも不安な気持ちに襲われるなら、職場に出てきて迷惑をかけている職場の人達を助けようと粛々と働いています。彼は、きっと今までの人生の中で不安の解消の仕方を知っているのだと思います。不安なら、そのことから逃げずに向き合うということ。

皆さんも同じです。志望校に合格できるのか?そもそも志望校を受験できるのか?と不安に思うなら、自分のすべきことを明確にして粛々と努力をしてください。そして1日、自分のすべきことをやったなら、自分に「よく頑張った!」と声をかけてぐっすり眠ってください。

1人で不安ならば、塾の自習室に来てください。自習室なら音楽も聴けないしYouTubeも見られないし、お菓子を食べることもできない。それになにより、先生達を捕まえて質問や作問ができます。

「今日も自分として頑張った」「今日も自分として頑張った」「今日も自分として…」。そのような、自分と向き合い努力する日々を丁寧に重ねる中で、静かな充実感が皆さんの中で沸いてきます。そして、その努力はやがて「やれる」という静かな自信に変わっていきます。

受験生との三者面談では、志望校を受験するかワンランク下げて安全校にするかという決断を皆さんに迫る場面があります。不合格のリスクを飲み込んで第一志望校を勝負するか。リスクを回避して安全校を受験するか。どちらが正解でも間違いでもありません。でも、皆さんには何らかの覚悟を決める時が12月の三者懇談会には来ます。その覚悟を左右するのは、自分とどれだけ向き合って頑張ってきたかです。

私は、本気の覚悟を決めた皆さんの凛とした顔が大好きです。希望や不安を飲み込んで、自分で自分の進む道を決めた皆さんの顔を見た時、また一つ大人になったと感じます。

みんなは羨ましくなるぐらい若くて元気に溢れています。今は、その若さと元気を前に進むエネルギーに変えてください。できる努力を全てやる。不安になったら、その不安すらも糧にして前に進んでください。そして、悔いの残らない本気の覚悟を持って進路を決めてください。

私達はあなた達を全力でサポートします。受験を通して、精一杯頑張ったことは必ず、自分は頑張れる人間なんだという自信と共に、すばらしい思い出になります。桜の花が咲く頃にはみんなで笑えるように、まさに正念場の「今ここ」を頑張り抜きましょう。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



高殿教室、生徒数 なんと200人になりました!

近久 賢治 (高殿教室長)

暑い夏も影を潜め、涼しくなってきました。高殿教室の近久です。タイトルにもある通り、現在通っていただいている生徒の数が200人を突破しました。オープンから務めさせていただいている私としては感慨深いものがあります。そんな高殿教室の紹介を今回はさせていただきます。

まずはキッズ部門です。10月末日現在、珠算部も目標であった50人を達成しました!人数も増えてきて、他の教室と遜色ない賑わいになってきました。



そろばん名物?! 「準備ができた」手は頭の上。」



ハロウィンの一場面。立っているようで座ってます!



この日は京都の先生達がバスカルクィズの見学に来られていました。

上級検定を受ける生徒達も年々増え、本当によく頑張っています。今は12月の競技会に向けて、猛特訓中です。高殿名物読み上げ算地獄にめげず頑張りましょう。

トーキングキッズの生徒達も、わいわいと日々頑張っております。また、ハロウィンレッスンでは僕の衣装が大人気で、トーキングキッズ外の生徒からも追い回されてちょっとしたスターになった気分でした。そのまま自転車整理に出て奇異な目で見られましたが…また、トーキングキッズでは、1月末の英検に向けてそろそろ過去問演習が始まります。英検というか、塾でのテストが初めてという子もいるので、気圧されず頑張ってください。

また、バスカルクィズも30人以上の生徒達に通っていただいております。実はバスカルクィズは、子供達の数能力や思考力が高まるということで様々な方々が指導の導入を検討されています。そのような先生達が見学に来られているのが、なんと高殿教室です。先月も名古屋や岐阜の先生が授業見学に来られましたが、生徒達は

いつもと同じリラックスムードで、その様子がかえって「こんなにアットホームにやっているのに、子供達のレベルはすごい」と好評なそうです。今月は、岡本先生が東京の玉川で指導研修を行うそうです。(塾生の大半が国際バカロレアコースで学んでいる子供達で、その子達の指導にバスカルの指導がぴったりなそうです)

小学部は去年よりもすっかり人数も増え、日々頑張っています。5年生も6年生もとにかく元気でキャラクターが濃い!徐々に診断テスト上位者で貼りだされる子も増えてきました。勉強の習慣を身に付け、貼り出し常連になってもらいたいものです。



▲上位者表常連の道は険しい!

続いて中学部です。中1は1学期の定期テストでクラスの半数が450点以上という圧巻の出

来でした!人数も増えてきたので、新しく入ってきた子達も、勉強の習慣を身に付け、「どれくらいやれば、どれくらいの点数になるか」を実感しながら次のテストも良い結果になるよう先生達は指導に当たっています。中2クラスは教室一の大所帯です。最近部活が大変そうグッタリしている子も見受けられますが、ここが踏ん張り時です。辛い時やしんどい時に少しずつでも進めるんだ、という気概があると、来年必ず良い方向に進みます。しっかり目標に目を向けて取り組んでください。



▲努力賞ゲットのポーズ

そして中3ですが、模試や面談など進路が決まってくる時期となりプレッシャーはあると思いますが良い雰囲気です。和気あいあいの中にも、問題に向かう姿勢は真剣です。塾の無い日にもよく自習に来るようになり、一生懸命頑張っています。1つ1つのテストの結果に一喜一憂してしましますが、とにかく毎日努力を重ねる。今が一番大変な時期です。私達が決定すれば少し落ち着くので、まずそこまでは必死に頑張ってください。「大変な時は大きく変わる時」です。自分に何が必要か今は足元をしっかりと固めながら、冬を迎えてくれればと思います。

高殿教室は、今全体としてとても活気があり、学習面においても中3生を筆頭にみんな頑張っています。教室では、時にみんなで笑ったり、時に成績が伸びず落ち込んだり。教室長になってからは特に私もそのような生徒達の姿を見ながら、一喜一憂、特にテストの成績が悪い時は眠れない日もあります。生徒達の頑張りや形にできるよう、スタッフ全員でこれからも全力でサポートしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



数字から見えてくる勉強のコツ

坪田 陽一 (諸口教室)

だいぶ寒くなってきましたね。教室でも体調を崩す子が目立つようになってきました。食事と睡眠、規則正しい生活を心がけ、体調管理に努めてほしいと思います。

さて今回、2学期中間テスト終了後、各教室の先生や生徒の皆さんのご協力のもと、定期テスト前の学習について簡単なアンケートをとらせていただきました。協力してくれた生徒の皆さんありがとうございました。その結果について、一部ではありますがお伝えしますので、今後の学習の参考にいただければ幸いです。

なお、アンケートは中1、中2の集団指導クラスの皆さんを対象として、10月中旬、中間テスト終了後に無記名で実施しました。タイミングが合わず実施していない学校やクラスもありますので、全員ではありません。実際のアンケートは教科毎にある程度細かくお聞きしていますが、ここでは抜粋して5科目共通の項目について触れていきたいと思います。

Q1 今回のテストは何点台でしたか。

5科目の結果を合算してまとめると、次のグラフ1のようになります。

およそ半数の生徒が80点以上。教科毎にもデータをとっていますが、この割合にほぼ差はありません。提出物をきちんと出して、テストで80点を超えていれば内申点4~5は確実でしょうから、このまま頑張れば公立の上位高に行けるレベルです。皆さん優秀ですね!おそらく定期テストの勉強についてある程度コツをつかんでいるのではと思います。

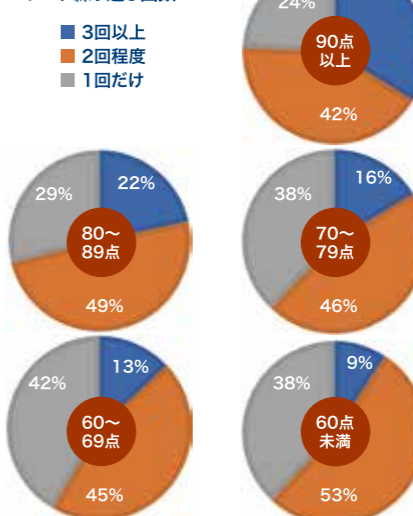
また、70点台が4分の1程度。定期テストの平均点は大体50点~60点後半くらいですので、平均+10点くらいはとれているということになりますが、もうひと伸び欲しいところですね。残りの70点未満の生徒については、苦手科目でとりきれなかったり、後回しにして結局やりきれなかったり様々な原因があるかと思いますが、今回のこの記事をヒントにして、改善していきましょう。

Q2 学校のワークは何回しましたか。

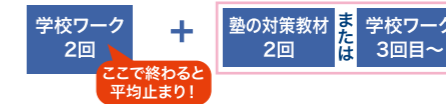
ここでは点数別に、学校のワークを何回しているのかを集計してみました(グラフ2)。グラフより、90点以上の生徒は、ワーク2回は当たり前、また教科によっては3回以上していることが分かります。学習の王道として、「同じテキストを何度も解く」ということは昔からよく言われていますが、その効果を裏付ける結果でした。また、どの得点帯でも学校ワーク2回という生徒

が半数程います。ということは、「ワークを2回繰り返すだけでは高得点には結びつかない」ということが言えるでしょう。実際、80点以上の生徒のうち75%は、塾の対策教材(理社の一問一答、英語の単元別プリント等)を2回以上繰り返していること、さらに約半数は学校ワークを2回、塾教材を2回していることも分かりました。ちなみに、学校のワークがない教科については、学校で配布されるプリント(通称白プリ)を繰り返したり、塾の教材の反復回数を増やしたりしているようです。

グラフ2 ワーク繰り返し回数



つまり、高得点をとるためには、このように、何度も同じく同じ問題集を繰り返して、苦手な単元や問題を解き直し、できるようになるまでやり続けることが必要だということになります。

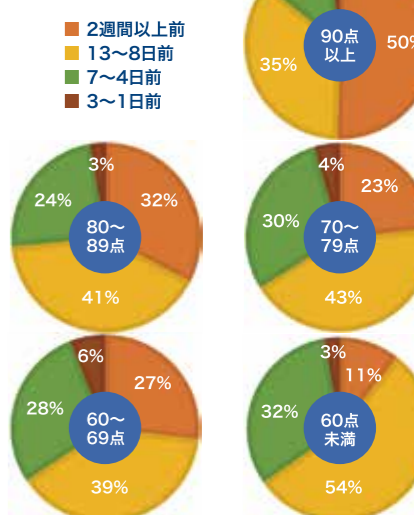


Q3 学校のワークは定期テスト本番何日前から取り組みましたか

これについても得点別に集計を行いました(グラフ3)。90点以上の結果を残している生徒の中で、50%の生徒がテスト本番2週間以上前からワークに取り組んでいることが分かりました。おそらく「手をつけ始めた」ぐらいの子が多いかと思いますが、2週前の時点で数学のワークがほぼ終わったという強者もいるようです。2週間以上前といえば、定期模擬テストの予想問題にせせと取

り組んでいるところかと思えますので、それと並行して学校のワークも進めていることになります。

グラフ3 ワーク開始日



先ほどQ2で述べたように、何度も繰り返して学習するためには、当然時間が必要です。成績の良い子はすでに2週以上前、遅くとも1週間前までは学校のワークに取り組み始めています。だから繰り返す時間がとれるということですね。

結局、定期テスト勉強のコツとしては、**1.早く始める。2.学校と塾の教材を何度も繰り返す。**という、至極当たり前の結論となりました。しかし、高校、大学受験や資格試験の勉強などの勉強の仕方も基本的に同じです。ぜひやり方を身に付けて、成功体験を積み重ねて欲しいと思います。

最後に、「書いてある通り、きちんと3回以上繰り返した」のに、結果が出ないという人へ。そういう人は、ぜひその答案用紙を持って担当の先生にアドバイスをもらいに行ってください。何が足りていないかを知るチャンスです。もしかしら小学校からの基礎学力の部分が足りていないのかもしれないし、「3回やった」というのも単に「作業」で終わってしまったって、記憶も理解も不十分だったのかもしれない。あるいは字が雑で読めないとか、実は集中力が途中で切れてしまい時間が足りなかったとか、いろいろな原因が考えられます。

大事なことはその「足りていないこと」を知ること。それはなかなか自分だけで気づくことは難しいです。そういう時こそ先生に聞く!聞くことで問題が整理され、解決の糸口が見つかります。成長のチャンスです。ぜひそこから逃げずに立ち向かってください。